

2020年 最終11月 全国有名国公私大模試 採点基準

第一問【50点満点】

問一 X イ Y ハ [5点×2]

問二 人工知能やロボット技術ばかりでなく、ゲノム編集技術や脳と機械の接続などの生命や人間の側を操作する技術も、コントロールできない勢いで発展していること。(74字) [8点]

問三 ニ・ハ [3点×2]

問四 ホ [5点]

問五 賞賛と嫌悪の入り混じったまなざし(16字) [6点]

問六 「人工物」は、人間との距離が近く境界をあまり感じさせず、命あるもののようにであり、とくに「ロボット」は共感の度合いが高く、友好的な機械であり人間の完全な道具だと見ている。(84字) [10点]

問七 ニ [5点]

問二 人工知能やロボット技術ばかりでなく、ゲノム編集技術や脳と機械の接続などの生命や人間の側を操作する技術も、コントロールできない勢いで発展していること。(74字) [8点]

それぞれの要素で同義語であれば可とする

A 人工知能やロボット技術ばかりでなく、(2点)

①「人工知能」…1点。「ロボット技術」…1点。

B ゲノム編集技術や脳と機械の接続などの生命や人間の側を操作する技術も、(3点)

①「ゲノム編集技術」…1点。

②「脳と機械の接続など」は「BMIなど」でも可。…1点。「など」が含まれない場合、①+②から減点1点とする。

③「生命や人間の側を操作する技術」…1点。「生命」「人間」どちらも必要。

C コントロールできない勢いで発展していること。(3点)

①「コントロールできない勢いで」…2点。※「ものすごい勢いで」は無得点。

②「発展している」…1点。

※人の手が及ばないという暴走のニュアンスがなければ不可。

## 問六

「人工物」は、人間との距離が近く境界をあまり感じさせず、命あるもののようにあり、とくに「ロボット」は共感の度合いが高く、友好的な機械であり人間の完全な道具だと見ている。(84字)

[10点]

※それぞれの要素で、同義語であれば可とする。「人工物」「ロボット」は言い換え不可。「」はなくてもいい。

A 「人工物」は、人間との距離が近く境界をあまり感じさせず、命あるもののようにであり、(4点)

※「人工物」を前提にしている上で以下①②の得点を与え、そうでなければ無得点とする。

①「人間との距離が近く境界をあまり感じさせず」…2点。「愛着をもち」などとしても可。

②「命あるもののようにあり」…2点。「人工物にも霊魂が宿るかのよう」などとした場合は可。

しかし比喩表現とせず「命ある」「霊魂が宿る」などの場合は1点とする。

B とくに「ロボット」は共感の度合いが高く、友好的な機械であり人間の完全な道具だと見ている。(6点)

※「ロボット」を前提にしている上で以下①②③の得点を与え、そうでなければ無得点とする。

①「共感の度合いが高く」…2点。

②「友好的な機械であり」…2点。「好意的」とした場合は1点。

③「人間の完全な道具だと見ている」…2点。

※ 制限字数の半分以上書かなかった場合は無得点とする。

※ 「から」「や」「こと」のように、設問要求に正確に答えていない場合、文末不備として1点減点。

※ 句点を付けていないものも1点減点。

※ 誤字は1点減。

## 問六 別解

人工物と人の境界をあまり重視してこなかった日本では、人工物と人の距離が近いためにロボットに対しても友好的であり、命あるものと同じように心を通わせられるものとして見ている。(85字)

[10点]

A 人工物と人の境界をあまり重視してこなかった日本では、人工物と人の距離が近いめに(3点)

①「人工物と人の境界をあまり重視してこなかった」、もしくは「人工物と人の距離が近いために」

という内容があれば**3点**。どちらかがあれば良い。

② 「日本」はなくても良い。

**B** ロボットに対しても友好的であり、(4点)

① ロボットに対して「友好的」という内容があれば、4点。

**C** 命あるものと同じように心を通わせるものとして見ている。(3点)

① ロボットを「命あるものと同じように心を通わせるもの」として見ている「、もしくは「共感の度合いが高いと考えている」でも可。4点。

## 第二問【50点満点】

### 問一

■基準 配点… 2点×4

■模範解答 ※解答例通り（漢字書き取り問題）

- 1 鼓動
- 2 証左
- 3 広範（広汎）
- 4 享受

### 問二

■基準 配点… 4点

■模範解答 ※解答通り（記号選択問題）

二

### 問三

■形式上の不備

- ・文末表現…要素C参照／内容説明の結び「〜こと」になっている場合は、要素C不可
- ・句点の扱い…1点減点

■基準 配点… 8点

■模範解答 ※各要素同意表現可。ニュアンスが正しければ許容

A

攻撃の意図があるかどうか以上に、

B

加害者の行為への解釈が重視され、

C

その行為は加害者のうかがい知れないところで攻撃性として認証されてしまうから。

■採点方法…

■字数…七十字以内 三十四字以下のものは全体不可（0点）

※飛行機の事例を用いて記述しているものも各要素同意であれば許容

■要素A 攻撃の意図があるかどうか以上に…2点

- ・要素Bとの関係で、加害者側の攻撃の意図が問題ではないということを説明していないものは、要素A加点なし

■要素B 加害者の行為への解釈が重視され…3点

- ・要素Aとの関係で、加害者の行為への解釈が問題であるということについて説明していないものは、要素B加点なし

・「加害者の行為への解釈↓被害者が差別と感じ取ること」でも可  
・要素Aで「攻撃の意図の有無が問題ではない」の部分がないが「攻撃の意図」に関する記述が書かれており、B要素が含まれる場合↓A× B○

■要素C その行為は加害者のうかがい知れないところで攻撃性として認証されてしまうから…3点

・要素Bであるため、加害者に自覚がないということを説明していないものは、要素C加点なし ↓要素Bとの論理関係が不適切な場合加点なし

・加害者のうかがい知れない部分の脱落↓2点減点

■別解 ※各要素同意表現可。ニュアンスが正しければ許容

A 意図的な差別とは違い、

B マイクロアグレッションという概念の特徴は、

C 加害者とみなされる側に、被害者に対する差別意識や悪意の自覚がないことだから。

■要素A 意図的な差別とは違い…2点

・「意図的な差別ではない」という内容のないものは、要素A加点なし。

■要素B マイクロアグレッションという概念の特徴は…2点

・「マイクロアグレッション」もしくは「自覚なき差別」とないものは、要素B加点なし

■要素C 加害者とみなされる側に、被害者に対する差別意識や悪意の自覚がないことだから…4点

・加害者に自覚がないということを説明していないものは、要素C加点なし

#### 問四

基準 配点…6点

■模範解答 ※解答例通り（記号選択問題）

示

#### 問五

基準 配点…6点

■模範解答 ※解答通り（記号選択問題）

## 問六

基準 配点… 6点

■模範解答 ※解答通り（記号選択問題）

ハ

## 問七

■形式上の不備

- ・文末表現…要素C参照／理由説明の結び「くから」になっている場合は、要素C不可
- ・句点の扱い…1点減点

基準 配点… 12点

■模範解答 ※各要素同意表現可。ニュアンスが正しければ許容

A

被害は美德で、特権は悪徳であるという「被害者意識の文化」における対立構造の中に身を置きながら、

B

被害者側は特定の少数者たちが差別や偏見にさらされることなく、快適に過ごせる空間を得るといふ特権を手に入れ、

C

自ら悪徳を冒してしまっているということ。

■採点方法…各要素単独採点

■字数…百二十字以内 五十九字以下のものは全体不可（0点）

■要素A 被害は美德で、特権は悪徳であるという「被害者意識の文化」における対立構造の中に身を置きながら…4点

・「被害≒美德」「特権≒悪徳」という「被害者意識の文化」の対立構造を説明していないものは、要素A加点数なし

※ただ「被害者意識の文化」とだけ書かれているものは不可。得点なし。逆に、対立構造の説明があれば「被害者意識の文化」の記述がなくても可。

■要素B 被害者側は特定の少数者たちが差別や偏見にさらされることなく、快適に過ごせる空間を得るといふ特権を手に入れ…4点

・被害者が悪徳とする「特権」を自ら手にしてしまっているということの説明がないものは、要素B加点数なし

ただ快適な空間についてのみ触れられているものは不可

■要素C 自ら悪徳を冒してしまっているということ…4点

・要素Bで手にした「特権」が「悪徳」であるということの説明していないものは、  
要素C加点数なし

第三問【50点満点】

問一 (4点×3)

a (1点) b (1点) c (1点) d (1点)

問一・A・模範解答例

よくよく見つめ申し上げると。(4点)

※それぞれの要素で、同義語であれば可とする

【各部の採点】 4点満点。加ポイント 4箇所。

a 「よくよく」…1点。「じっと」「念入りに」「しみじみと」も可。

b 「見つめ」…1点。「ながめる」及び「見守る」も可。

c 「し申し上げる」…1点。謙讓の補助動詞。「お(見つめ)する」も可能。

d 「し(する)と」…1点。接続助詞「に」の単純接続の用法。「し(した)ところ」も可。

a (1点) b (2点) 1 (1点)

問一・D・模範解答例

さぞや薄情な親だと思っっているだろう。(4点)

※それぞれの要素で、同義語であれば可とする

【各部の採点】 4点満点。加ポイント 2箇所。

a 「さぞや…思っっているだろう」…2点。「きつと…ただろう」も可。現在推量の解釈。「さぞやきつとくただろう」も可。「きつと思っだろう」「さぞや思っだろう」のように現在推量の解釈の感じ取れないものは1点の減点。

b 「薄情な親」…2点。「冷酷な親」「つめたい父親」でも可。



問一・F・模範解答例

a (3点)      b (1点)  
これ以上の罪があるだろうか。(4点)

※それぞれの要素で、同義語であれば可とする

【各部の採点】4点満点。加ポイント2箇所。

a 「これ以上の罪が」…3点。「これ以上のことが」は1点。「五逆罪(注)」を引用して  
「これ以上の罪が」とすること。

「これ」を「親不孝」「親の側を離れていたこと」など、内容をあきらかにして言い換えて  
もいい。

b 「あるだろうか。」…1点。反語の意。「〜だろうか、いやない」でも可。「〜でしょうか」  
のような丁寧表現も可。

問二 a せ b たり c し (各2点×3)

問三 口 (7点)

問四 口 (6点)

問五 (最初) そもそ (最後) あらん  
(5点) 完答。

問六 江戸 (4点)

## 問七(8点)

問七・模範解答例

自分が涙を落としたら、それを見た父が心配して病がますます重くな

a (2点)

b (2点)

c (3点)

d (1点)

ると考えたため。(三九字)

(8点)

【各部の採点】8点満点。加ポイント4箇所。三〇字に満たないものは一点の減点。

a 「自分が涙を落としたら」「父が筆者の涙を見たとしたら」の内容(どちらかのニュアンスがあれば可)。…2点。

b 「それを見た父が心配して」…2点。「父が自分の病気の重さを痛感してしまい」の内容。「父が自分が重病であると絶望し」でも可。「父」+「心配」「絶望」などのニュアンスがあればよい

c 「病がますます重くなると考えた」…3点。「父の病気が悪化する」の内容。

d 「〜ため」…1点。理由説明問題の文脈処理。これだけ正解では加點無し。

## 問八(2点)

第四問【50点満点】(漢文) 採点基準

問一 【解答通り】各2点 2×4＝8点

解答

a ㄥいたづらに (ㄥ)いたづらに  
b ㄥいはゆる (ㄥ)いわゆる  
c ㄥいやしくも  
d ㄥおのおの

採点基準

・現代仮名・歴史的仮名遣いともに可。

・現代仮名遣いと歴史的仮名遣いが混在している場合

例 a 「いたづらに」 c 「いわゆる」

b 「いたづらに」 c 「いはゆる」

統一することを注意して、得点を与える。

・送り仮名のないものは0点

問二 【解答通り】各3点 6点

解答

1 ㄥロ 2 ㄥイ

問三 【解答通り】5点

模範解答

非<sub>下</sub>以<sub>二</sub>言語・文字<sub>一</sub>教<sub>中</sub>之人<sub>上</sub>也。

採点基準

・部分点なし

・送り仮名を付けたものは0点。

問四 8点

解答例

|| 後世に道を学ぶ者たちを、自分たちと同じく聖賢とさせよ  
a 2点  
c 2点  
b 4点

うと  
|| するだけなのである。

採点基準

- ・ a 「道」など学ぶ対象のないものは1点。
- ・ a 「学者」は不可。
- ・ b 使役表現のないものは2点減点。
- ・ b 「聖人賢人であらせよう」など可。
- ・ b 「自分たちと」がなくとも可。
- ・ b 「聖賢と同じようにさせよう」も可。
- ・ c 限定表現「のみ」「だけ」「ばかり」などが無いものは不可。

- ・ 「まさに」を訳に入れているものは不問。
  - ・ c 「願うだけである」も可。
- ※それぞれの要素で、同義語であれば可とする。

問五 【解答通り】 5点

解答

ハ

問六 【解答通り】 5点

解答

イ

問七 5点

解答

|| 人の過ち有るを視て言はず

採点基準

- ・ 文構造を取り違えたものは不可。
- ・ 誤り1か所につき、1点減点。
- ・ 「而」置き字の漢字は読まない。減点1点。

問八 【解答通り】 各4点 8点

解答

ロ・ハ

以上